

学校再編整備計画素案に係るパブリックコメントの実施結果の公表について

パブリックコメント募集期間 ... 平成20年2月1日～2月29日

パブリックコメント受理人数, 件数 ... 159人, 218件

坂出市学校再編整備素案についてのパブリックコメント(ご意見)を募集しましたところ, 159人の市民の方々から, 延べ218件のご意見をいただきました。本当にありがとうございました。皆様から寄せられました意見を集約し次のとおり公表します。

分類	ご意見の内容(要旨)
学校再編整備計画素案についてのパブリックコメント	通学距離が長くなることにより, 児童・生徒の下校時の安全性に問題があるので反対。
	通学のための交通安全施設の整備充実を要望する。
	通学距離の目安の小学校で3km, 中学校で5kmは, 小学校低学年にとっては体力的に厳しいと思う。
	王越地区から白峰中学校へのバス通学は, 不便で負担が大きいのが現状である。
	小学校の区割りは, 旧町村合併前の区域を考慮する中で再検討してほしい。
	学校の統合にあたり, スクールバスなど具体的通学手段について示してほしい。
	スクールバスの場合, 市の都合による統合なので保護者の経済的な負担増となるのはおかしいと思う。
	統合後, 特に新市内においては, 通学路の安全確保に努力してほしい。
	小学校低学年にとってバス通学は安全上問題があり, 下校時間が遅くなればバス便がなくなり不便だ。
	島には橋があるが, バス便が少なく, 有料道路であるなど交通が不便である。
統合により島外の学校になると, 悪天候の時に橋が渡れなくなり, 帰りが遅くなるとバス便がなくなったり, 急な病気などの緊急時に車が渡れないなど, 通学や交通面で問題がある。	
学校施設等	5年, 10年先の統合よりも校舎の雨漏りの修繕など, 今困っていることを早期に処理してもらいたい。
	校舎が古いので, 学校の再編や市内道路の整備より, 校舎等教育環境の整備を優先してもらいたい。
	学校は, 地震の際の避難所であり, 歩いて行ける距離であることが必要なので統合に反対。
	学校の統合により, 災害時における避難場所である機能がなくなるのではないかと心配である。
	耐震補強工事は本来行政が責任をもって早期に実施すべきものであり, 学校再編とは別の問題である。
	統合に伴う新設校の設置は, 交通の利便性や周辺の文教施設との一体化を考慮した場所を選定されたい。
	統合に伴う新設校の設置は, 用地拡張の可能性も含めた広い学校用地の確保を考慮して選定されたい。
	統合に伴う新設校の設置は, 学校跡地の利用・活用価値を十分考慮されたい。
	再編に伴う学校跡地を地域の活性化に有効利用してほしい。
	島の学校はまだ新しいので統合はもったいない。存続すべき。
島の場合, 校舎等建物の耐久性に問題がないのであれば, 統合は急がなくてよい。	
教育・教員	子どもは社会の宝であるので, 学校再編より人材育成に力を注いでほしい。
	教育現場の先生方が様々な学校行事等で忙しすぎるので, もっとゆとりを持って子どもたちと交流する時間を作ってほしい。
	島では, 不登校の子どもにとっても楽しい学校生活が過ごせると思う。
	島の学校では, 友人みんな仲が良く, 先生方も一生懸命教えてくれたので, 学校を残してほしい。
	僕は, 島の中学校を卒業した高校生ですが, マンツーマンで授業ができるのは島以外ではできない。

	子どもにとって島のように自然が多く落ち着いた環境の中でのびのび勉強ができることが大切である。
学校再編整備計画素案についてのパブリックコメント	少人数での学校存続が果たして子どもたちにとって良いのかどうか疑問である。
	私の子どもの通っている小学校は各学年1クラスで少ないので、近い将来統合は仕方がないと思う。
	坂出には小学校が多すぎると思う。1学年に2クラス以上は必要であると思う。
	学級規模については、40人学級から30～35人学級にし、ゆとりある少人数学級にしてほしい。
	複式学級は子どもの成長に良くない。大勢の中で競争することによって育っていくものである。
	少人数学級・小規模学校では、児童・生徒がきめ細やかな指導が受けられるという長所がある一方で、子ども同士の育ち合いができないという短所がある。
	11学級以下の学校の方が、先生方が子ども達を把握するのに適切な規模である。
	小規模な小学校から大きな規模の中学校に進学したとき、とまどいを感じてギャップが生じる。
	学校規模があまり大規模になると、先生から生徒の顔が見えなくなることが危惧される。
	統合によって小規模の学校がなくなると、大規模校に適応できない子どもの行き場がなくなる。
	統合によって大規模校ばかりになるので、適応指導教室の増設などの充実を図られたい。
	適正な学校規模は行政側の考えである。歴史文化や生活様式の違う島を陸地の尺度で計らないでほしい。
	集団生活の競争よりも、小さいけれど島の学校と地域が一体になって行事を行うなどの良い面がある。
	小規模校の持つメリットもデメリットも体験、理解したうえで子どもを島内の学校に通わせたい。
地域等	地域の学校がなくなれば、祖父母や地域住民が行事に参加できなくなるとともに地域の過疎化が進むので反対。
	統合には賛否両論があるので、地域にきちんとした説明をしてほしい。
	島しょ部の学校は、統合した後も、自然や野外生活の体験学習の場として学校を存続してはどうか。
	調整区域の線引き廃止に伴い活性化しつつある地域は、統廃合に伴い小学校がなくなることにより、再開発の進行が減速するのではないかと心配である。
	王越地区は小学校の行事を軸に地域活動が成り立っており、学校がなくなれば高齢化、過疎化がより一層進むと思う。
	家庭教育と、自治会や婦人会、老人会などの地域教育力との連携・協力体制の強化が重要である。
	統合後も子ども会活動や防犯パトロール活動など、地域の諸団体とのつながりを保っていくことが重要。
	統廃合にあたっては、旧市内と新市内では地域住民の考え方が違うことも考慮した対応が必要である。
	学校は昔から地域の核であり文化の中心であるので、統合に際して地域意識の育成、地域活力の維持が必要。
	これまで学校を中心に自治会活動や地域団体との交流が営まれてきた。地域に学校は必要である。
	島の学校は地域と一体である。学校がなくなることにより、活気がなくなり過疎化が進むので反対。
	運動会・学習発表会などの学校行事は島民にとって何よりの楽しみなので、学校を存続してほしい。
	学校がなくなれば若者が減り年配者が増え、地域が衰退する。学校は必要であり現状維持でお願いしたい。
	地域

学校再編整備計画素案についてのパブリックコメント	等	島は橋が架かっているにもかかわらず不便な面がある。島と陸地は生活環境が違うので、いっしょにしないでほしい。
		島民全体で、常に子ども達を見守ってくれているので、地域の学校で学ばせたい。
		島民は、清掃活動や運動会、祭りなどの行事の場で子ども達とふれあうことに喜びを感じている。
		島には昔からの文化や伝統があり、学校がなくなれば継承する者もいなくなり衰退するので学校は必要。
		学校は、地域の子供も、大人、老人にとって大切な交流の場であるので、統合を急がなくてよい。
		島内の行事は、島を活気づけており、また学校を中心に行われているので学校を残してほしい。
		島の学校は母校であり、老人にとって学校との交流は楽しみであり、生きる希望となっているので統合反対。
市政全般・その他		地域には地域でしか学べないものがある。市の財政状況など大人の理由で学校をなくさないでほしい。
		統廃合の計画は、やはり人件費や経費削減など財政の効率化を求めている計画なのではないでしょうか。
		市は、少子化の進行に伴い、公的施設・医療機関・商業施設の充実、および企業誘致や安全安心のまちづくりなど、市民が住みやすい総合的なまちづくりを推進することが重要である。
		学校再編には全面的に賛成であるが、制服の統合に際しては、もっと機能的なものにするとともに、名前の刺繍に代えて、名札のほうがよい。
		計画素案の将来構想を後期に入れて二段階とすれば計画がより具体的になる。
		50年先の坂出市の姿を構築する中で、統廃合を進めてほしい。
		学校の統合や島の活性化について、他市の事例などをもとに意見を出し合い、話し合う時間が必要である。
	現在、給食がないので昼食を自宅に帰って食べているが、統合により他の島になると給食が必要になる。	
	学校を存続してほしい。もし統合するのなら10年以降にしてほしい。	
	島外の方は島のことを十分わかっていないのだから、島の学校の事には口出ししないでほしい。	

今後、皆様からのご意見を「学校再編整備検討委員会」に報告し、十分にご審議頂き最終の答申に反映して頂くこととなります。その後、教育委員会として、答申に基づいた再編整備計画を策定いたします。当初、上記のご意見の内容と、それに対する教育委員会の考え方を3月中旬に公表するとしておりましたが、再編整備計画の策定期間に、先般公表した計画素案の修正内容および修正理由を公表する予定にしておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。